

学習・進路だより

☆期末テストの結果と3学期に向けての対策

〈特進・アスト〉

- 国 a = ワークへの取り組みの甘さが目立ちました。「理解に結びつく学び」をしましょう。
- 国 b = 勉強している生徒とやって無い人の差が激しいです。実力がついていません。冬休みには基本事項の見直しが必要です。
- 数 I = 三角比の問題は形式的です。使うべき定理・公式は確実に押さえておきましょう。日々の予習・復習を怠らぬに。
- 数 A = 図形分野は図を描く習慣、証明では相手に伝えるための丁寧な説明が必要です。新テストでは圧倒的に文章量が増えるので素早く情報を処理できる力を身に付けましょう。
- コミ英 = 学習はしっかりしてきています。しかし復習の時間が少ないように思われます。英語は飽きるくらいやらないと力がつきません。2年後に力が発揮できるように基本を確実に身につけてください。

〈普通〉

- 国 a = 教科書の本文やテストの問題文を読んでいない人がいます。基本的な漢字の読み書き、語句は解答できるように学習しておく事が大切です。
- 国 b = 古典文法・句形の理解が出来ていません。文法書を見直し、分からないところは教科担当に質問して、分かるようにしておくこと。
- 数 I = 2次関数については平方完成して最大値・最小値を求められるように復習しましょう。2次不等式や判別式もグラフと関連つけて考えてください。
- 数 A = 角度の大きさや辺の長さ、面積などを求められるようにしましょう。日々の復習の積み重ねが大きな力になります。
- コミ英 = 本文の内容理解と関係代名詞の基本的な内容はまずまず理解出来ていたようです。しかし、Value 1400の学習が不十分な生徒が多かったので、普段の小テスト学習を大切に、基礎力を高めてください。

☆冬休み中の学習について

「少年老い易く学成り難し、一寸の光陰軽んずべからず」と中国の漢詩にあります。「若いうちはまだ先があると思って勉強に必死になれないが、すぐに年月が過ぎて年をとり、何も学べないで終わってしまう、だから若いうちから勉学に励まなければならない。」と言う意味です。2学期までに学んだ学習内容の復習が必要です。

冬休み期間中はクリスマスやお正月と色々な行事があります。復習や冬休みの課題は早目に計画を立ててやり遂げてください。

3学期の定期テストは学年末テストだけです。残り1回のテストが年間の成績（5段階評価）につながります。後悔のないように頑張りましょう。

☆2学期欠点科目確認テストについて

1月8日(火)～18日(金)の授業後に行います。合格するにはテストで50点以上を取り、かつ完璧に仕上がっている課題を期限内に提出することが必要です。分からない箇所は教科担当の先生に質問し、十分準備をして望みましょう。

☆入試の状況

前回に引き続き、県内の主な大学の入試状況です。(合格者/受験者)

大学名	AO入試	公募推薦	大学名	AO入試	公募推薦
愛知学院大学	1/3	8/16	名古屋学院大学	3/12	8/14
愛知淑徳大学	4/12	4/16	日本福祉大学	5/5	1/5
中部大学	4/13	2/6	大同大学	3/6	2/9
東海学園大学	2/14	1/2			

数字に表れないことを少し触れておきます。一般入試でも十分に合格できる力を持った受験生が、推薦入試から挑戦し始めています。その受験生は、その大学が第一志望ではありません。しかし、当然のように合格していきます。その結果、その大学を第一志望に推薦入試を受験した受験生が不合格になります。

また、これは名古屋学院大学の話ですが、名古屋学院大学の公募推薦には、「小論文型」と「基礎学力テスト型」の2つがあります。星城高校の合格者は「小論文型」での受験でした。同じ受験生が同時に2つの型で受験した結果も、「小論文型」での合格でした。これは単純に「小論文が得意だったから」ということだけでは片付かない問題のように思います。

☆評定と検定試験

公募推薦にまつわる話で、もう一つ皆さんに伝えておきたいことがあります。

公募推薦では、評定や資格を点数化する大学があります。これは以前からも行われていたことですが、そのことを大学も力を入れてアナウンスするようになりました。

ここに2つの大学の例を出します。

名古屋学院大学(小論文型)

次のような数値が評定平均に加算されます

部活動でキャプテン…0.2 英検準2級…0.2 漢検準2級…0.2

東海学園大学

活動評価点(最大10点)が次のような評価をもとに計算されます

部活動でキャプテン…2点 英検準2級…3点 漢検準2級…3点

名古屋学院大学では、評定平均3.4で部活動でキャプテンを務め、英検・漢検で準2級を取得していれば、4.0として評価してもらえるとということです。東海学園大学では、評定を2倍したものに活動評価点を加えられ20点満点で評価をします。同じ生徒であれば14.8点となります。

星城高校の推薦条件の1つに、「評定平均が3.8以上」というものがありますが、もしもこの条件で出願すれば、みなさんにとってより良い評価につながります。

ですから、やはり評定は大切です。しかし、評定以外の勉強に取り組むことも、進路を決める上では大切になるのも事実です。先ほど話をした名古屋学院大学の小論文型での合格者

は、ここで他の受験生と差をつけたのかもしれませんが。

最後にもう一つ。受験に必要な評定平均値は「3年生1学期まで」のもので、1年生でしか受けない授業の評定も、3年生の1学期までに入ります。すべての授業が皆さんの進路につながっているのです。1年生としての定期テストは、3学期の学年末テストのみです。最後まで手を抜かず頑張ることが、進路を手に入れるためにできる最善策と言えます。

☆今後の学習進路関係予定

12月19日(水)～21日(金)	保護者会
12月22日(土)	終業式
12月25日(火)～27日(木)	特進講座
01月07日(月)	始業式・実力テスト(2～3限)
01月08日(火)	実力テスト(6限)
01月08日(火)～18日(金)	欠点科目確認テスト
01月16日(水)	小論文理解セミナー(6限)
01月18日(金)	第3回漢字能力検定
01月19日(土)	進研総合学力テスト
01月27日(日)	実用英語技能検定一次試験
01月30日(水)	本校推薦入試(生徒家庭学習日)
01月31日(木)	第3回オンライン英会話①
02月05日(火)・06日(水)	本校一般入試・採点日(生徒家庭学習日)
02月07日(木)	第3回オンライン英会話②
02月14日(木)	第3回オンライン英会話③
02月16日(土)	第3回数学検定
02月20日(水)	学年末テスト時間割発表

